



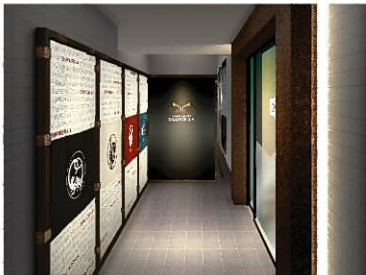
ARCHTECTURE REVIEW



建築見て歩記 その43

「北名古屋市総合福祉センター」通称「もえの丘」です。高松伸の設計で1999年に完成し、当時は「師勝町総合福祉センター」でした。複雑なプログラムに対してのコンペで、高松氏が選ばれましたが、この設計は一時期のメカニカルな意匠から一皮剥けた、「ファンタジック」と言える高松建築だと思います。訪問時にはたくさんの市民が利用していました。

CURRENTLY WORKS



薬膳火鍋 シャングリラ その5 サブエントランス

このビルには、建物正面から降りる半外部階段もあり、こちらから来店される方もおられる…と判断し、サブとは言え、エントランスとしての顔を作りました。正面の吹き抜けを、喫煙スペースとして利用するため目隠しを兼ねたロゴサインを立て、右手には、アーチで囲った出入口を作り、左手には、設備を隠す、連続フレームの布サインを設えています。

PRIVATE TOPICS

一般の方の見え方



色弱の方の見え方



岡島の「医療への想い」… 色見え方を考えることもデザインの役割

日本で、色の受け取り方が異なる人は300万人以上います。デザインで「患者様が健康に近づく事を目指して設計を考える会社」を率いる私は常に、医療に役立つ事に繋がる行動をしています。カラーユニバーサルデザインに興味がある方がおられましたら、ぜひ岡島までご連絡を頂きたいと思っています。 参考：人にやさしい色づかいをすすめる会

EDITORIAL NOTE

2月の3日は「節分」ですが、この「節分」というのは、文字通り、季節を分ける時点のことであり「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日はすべて「節分」だそうです。この日に、季節の変わり目の邪気を払います。ここ100年程は、節分は2月3日でしたが、2021年からは、2日になるそうです。

編集担当：太田・藤原